

今年の梅雨入りは昨年よりも2週間以上も早かったためか、雨の日が例年以上に多いように感じられます。大雨に関する注意報や警報も何度か出されることがありましたが、幸いなことに子どもたちの登下校に影響を及ぼすほどのことはこれまでありませんでした。保護者の皆さんには、朝6時の段階での警報の有無を一つの目安としていただいておりますが、実際には子どもたちが登校してくる7時から8時ごろの天候がどうなるかを考慮しなければなりません。昔は、テレビの天気予報と電話で問い合わせができる天気予報で判断していましたが、今ではインターネットで大体の雲の動きが分かりますので、私のような素人でも、1時間後、2時間後の天候を予想することができるようになりました。学校の判断で突然子どもが休みと言われるとお困りになれる方もいらっしゃるかもしれませんが、子どもの安全を第一に考えなければなりませんので、急なお知らせであってもご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

さて、最近嬉しいことがありました。私は毎朝30分前後の散歩をするのですが、その途中ときどき白杖を使いながら散歩をされている方を見かけることがあります。どの程度目をご不自由な方なのかは分かりませんが、狭い歩道を歩くのは大変なようで、車の通りが少ない道では車道を歩かれることが多いです。これまで、その方が歩いている様子を見ていて何か危険なことがありますよなときは声をかけなければと思いつつも、結局何もできずにいました。でも、ある朝同じ道をしばらく歩く機会があり、そのときようやく私の方から「おはようございます」と声をかけることができました。そうすると、その方からは直ぐに「おはようございます」という挨拶が返ってきたのです。私はこれまで何度かその方を見かけたときに、挨拶一つできなかった自分を恥じ、同時に挨拶を交わすことができたことをとても嬉しく思いました。その日は挨拶しかできませんでした。その後散歩をされている様子をお見かけすると、挨拶だけでなく、「少し前に車が停まっているので、右に寄ってください。」などの声かけができるようになりました。一緒に歩いている犬の息遣いが聞こえたのでしょうか、「随分大きな犬のようですね」と言われたこともあります。小さなことかもしれませんが、少しだけ人の役に立てたかもしれないことを嬉しく思い、人との関わりが自分を前に進ませてくれることを実感できました。

## 【子どもたちの歌声】

毎朝学校の中を歩いていると、教室から聞こえてくる子どもたちの歌声が心に響きます。なんて素敵な歌詞なんだろう、なんて素敵な歌声なんだろう。しばらくその歌声が聞こえてくる教室の前で立ち止まってしまうこともあります。はっと気がつくとき普段は1階で仕事をしている事務職員が3階の廊下にいることもありました。「どうかしましたか?」と聞くと「素敵な歌が聞こえてきたから」とのことでした。歌声が学校に響くとき、みんなの心がつながるように思います。

音楽集会が近づくと、ますます朝の時間の歌声は学校に響きます。一度に複数の歌が聞こえてくると、私の脳は大混乱。一曲ずつ聴きたいという思いは、音楽集会までお預けとなってしまいます。

6月14日は私が待ちに待った音楽集会。もちろん子どもたちもそうでしょう。音楽クラブ、合唱部、そして12クラスの歌の発表です。楽しませていただきました。各クラスの歌に「わたしもみんなのお日様になりたい」「あなたの大切なものをしっかりと守ってあげてください」「みなさんの歌声に元気と勇気をもらいました」などの一言メッセージをメモしながら。

## 【廊下を走ることは自分勝手な行為】

6月の生活目標が「廊下を歩こう」であることもあり、朝会で最近自転車を利用する人たちのマナーが問題になっていることなども取り上げながら、廊下を走るとはどういうことなのかという話をしました。

自転車を利用する人のマナーで特に問題になっているのは、通行する場所、道路標識や信号を守らない、そしてまわりの状況を考慮しないスピードの出し過ぎ、さらには携帯電話を操作したり、両耳にイヤホンをつけながらの運転をしたりなどがあげられます。急いでいるから信号を守らない、音楽が聴きたいからイヤホンをつけるということだとすると、いかにこれらのことが自分勝手、身勝手な言い分であるかということを伝えました。

自分は急いでいるからという言い訳を社会のルールを少しくらい守らなくてもいいということに結びつけてしまうこと、それはとてもいけないことであり、他の誰からも「そうだね。君は正しいよ。」と認めてもらえることではありません。廊下を走るのも実は全く同じであり、急いでいるから、誰かより先に目的の場所に行きたいからというのは、これは自分勝手、身勝手な行動以外の何ものでもありません。その結果、人にぶつかり怪我をさせるという危険なこともあります。先生に「走ってはいけないよ」と注意されると、「だって、あの子だって走っている」ということを言いたくなるかもしれませんが、それを言うことで自分の行動を間違っていないと主張するのはおかしいです。個人の我儘や身勝手、自分勝手が、まるで正しいことかのように通用してしまうような学校、社会であってはならないということを子どもたちに伝えたいと思いました。